

テーマ2 北海道観光の魅力UP

旭川夏まつりにおける旭橋の活用

～ 土木遺産「旭橋」のライトアップ・放水が旭川夏まつりに花を添えます～

【背景】土木遺産「旭橋」は、川の街と称される旭川市において特に愛される橋梁

【ねらい】旭橋を活用した旭川観光のイメージアップ支援

実施状況



これまでの取組みと成果

- ・旭橋60周年(H4)、70周年(H14)に放流を実施
- ・夏祭り期間中観光客総数 390千人 (H15)
- ・旭川夏まつり実行委員会 (旭川市、旭川商工会議所、旭川観光協会、平和通商店街、旭川銀座商店街、他 民間企業等)

展開イメージ

旭川夏まつり実行委員会と連携し、土木遺産の旭橋を活用して、旭川夏まつりを盛り上げます。

北海道開発局は旭川夏まつり期間中、旭橋からの光り輝く放水を行い、真夏の夜の涼を演出します。

実施個所 :石狩川旭橋河畔

実施時期 :平成16年7月29日～7月31日

放水 (滝) 18:00～22:00

ライトアップ 20:00～22:00

(29日の花火大会中を除く)

なお、今後も観光支援の一環として、夏まつり実行委員会等と連携し、毎年実施します。

7/23に旭橋が第2回北海道遺産の第2回選定において2次候補(72件)に選ばれました。

今後については、10月をメドに25件程度に絞り込み、新たな北海道遺産として選定する予定となっております。

テーマ2 北海道観光の魅力UP 「わが村は美しくー北海道」運動

～参加しよう 広げよう いいもの伝えよう～

【背景】 北海道の農山漁村は健康な食の提供に加え、自然環境の保全や、魅力的な景観の形成など多面的機能を発揮

【ねらい】 農山漁村の魅力地域資源として活用した活力ある農山漁村の創出



これまでの取組みと成果

「北海道田園委員会」の設置
運動の推進・支援のあり方について道内の有識者を中心に検討しており、現在まで4回開催しています。
コンクールの開催
第1回コンクールには126件(114団体)の応募がありました。

展開イメージ

個性を活かし、住民自らが主体的に「ランドデザイン」を描くことにより、「景観を育てる」「特産物を育てる」「人の交流を育てる」という3つのテーマに沿った地域づくり活動を展開します。

北海道開発局では、

この運動の一環として、地域住民主体の優れた取り組みを表彰するコンクールを実施しています。現在、第2回コンクールを開催しており、195件の応募(旭川開発建設部管内で12団体14件 詳細は別紙)がありました。

なお、表彰については、平成17年1月を予定しております。

この運動の浸透・発展を目的としたシンポジウムやセミナー、パネル展の開催のほか、コンクールへの応募団体をまとめた記録誌等を発行するなど、地域の活動についての情報発信を行っています。

この運動の趣旨に賛同し設立されたNPOと連携し地域づくり活動団体と現地交流会を開催するなどネットワークの形成に取り組めます。

テーマ2 北海道観光の魅力UP 道路沿道景観の通信簿

～ 地域の方々に道路景観の通信簿をつけてもらいます～

【背景】美しい景観づくりへの関心の高まり

(美しい国づくり政策大綱、景観緑三法)

【ねらい】美しく魅力ある地域づくりを考える「きっかけ」づくり



これまでの取組みと成果

平成15年度に全道14箇所を実施

展開イメージ

北海道開発局は、地域の方々や自治体、関係者と協力した沿道景観の改善のため、良好な景観、改善すべき景観について、地域の方々に主体的に通信簿づけをしていただき、より良い景観づくりに取り組んでいきます。

今年度は7月から10月にかけて、全道15箇所の国道で実施を予定しています。

旭川開発建設部では、シーニックバイウェイモデルルートである国道237号(花人街道ルート)において、9月から10月にかけて実施を予定しています。

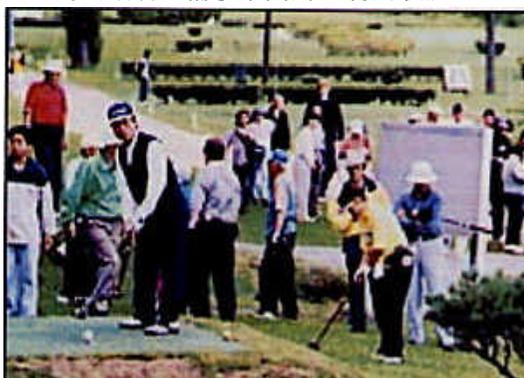
テーマ2 北海道観光の魅力UP アウトドア体験型観光情報の提供

～ カヌーポートや水辺のレクリエーションマップをわかりやすく提供します～

【背景】 アウトドアスポーツのニーズの高まり

【ねらい】 カヌーポートやパークゴルフ場などの情報を提供することにより、アウトドアスポーツを支援

【河川環境整備事業箇所の利用状況】



【カヌー利用マップ】



これまでの取り組みと成果

カヌー利用マップなどを天塩川・尻別川などで作成しています

河川やダム環境整備事業により、自治体と連携してパークゴルフ場や親水公園等を整備しています

展開イメージ

北海道開発局は公園管理者や自治体等と協力して、河川やダムにおけるカヌーや親水公園の利用マップを順次作成した上で、川の情報館や道の駅などで配布するとともにホームページへ掲載します。

平成16年度はカヌーや親水公園の利用マップの作成・配布を先行させながら、今後配信情報の充実を図っていきます。